

SUZUCHU VOL.83 NOW 冬

2026

- 発行日 2026年1月1日
- 発行 鈴鹿中央総合病院
- 編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
TEL 059-382-1311
URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
- 編集協力 (株)TCKnagoya

【道】医療体制の充実と未来への挑戦
：その先にあるもの

■Salon de news

- ・放射線治療装置が新しくなります
- ・緩和ケア研修会
- ・第17回がん市民公開講座を開催

■教えてQ&A

「ばね指・腱鞘炎を予防するために」

■院内【知っ得!辞典】

摂食・嚥下障害看護認定看護師

■誌面でクッキング

にんじんとりんごのポタージュ



○○その先にあるもの

医療体制の充実と未来への挑戦



院長 北村 哲也

医療体制の充実と 新たな挑戦

この一年、当院では診療体制の強化が着実に進んだ。一昨年に更新したMRI装置が一年を通して稼働し、心臓MRIによる精密評価が可能となつた。院長は「特に心筋症のような微細な変化を捉えやすくなり、診断の精度が上がった」と語る。

以前に比べ、検査の待ち時間も短縮され、地域の患者にとってより身近で負担の少ない検査環境が整つたことも大きな成果だ。

診療科では、地域で不足していたリウマチ・膠原病内科が新設され、大学病院から迎えた医師と血液内科が連携して診療を開始した。形成外科も非常勤医とともに立ち上がり、

リンパ浮腫外来のバックアップも整うなど、地域で必要とされる専門領域が着実に広がつた。「専門医が少ない領域でも、チームで支え合いながら診療できる体制を作りたかった」と院長。取材を通じて、患者が安心して専門診療を受けられる環境が地域医療の底上げにつながっていることを実感した。

特定行為研修では新たに1名が修了し、当院の体制は3人体制となつた。

院長は「看護師が医師の業務の一部を担うタスクシフトが前に進めば、教育の循環が生まれ、より良い医療につながる」と期待した。研修を受けたスタッフは日々の診療で知識と技術を実践に移し、チーム全体の医療提供能力向上にも貢献している。

がん治療の飛躍と 身体づくりの新外来

今年の大きなテーマは「がん診療」だ。1月には放射線治療が再開し、国内でも希少な「フルスペックのトモセラピー」が導入された。呼

吸に合わせて照射位置を追従する高度機能により、より精度の高い治療が可能となつた。院長は「県内では他にない装置で、多くの患者に貢献できる」と語る。從来困難だった部

位や微小病変にも安全かつ正確な治療が提供できるようになった。手術支援ロボットの導入も具体的に検討が進む。AI解析や触覚フィードバックを備えた次世代型で、外科・泌尿器科・婦人科など幅広い領域での活用が期待されている。「医師の技術向上にもつながり、患者にとってもメリットの大きい設備になる」と院長は慎重かつ前向きに語る。

さらに、今年もう一つの重要な取り組みとして「Rebody外来」が本格稼働した。院長は「ただ痩せるのではなく、筋力低下と肥満が重なる「サルコペニア」(※)を改善する外来にしたい」と語った。リハビリ部門は土曜日も稼働し、理栄養士と連携して筋力づくりを支える体制が整つた。保険診療での減量治療も可能で、体重だけでなく筋肉量や生活習慣の改善を目指す、地域でも先進的な取り組みとなつていい。

医療DXで広がる 負担の少ない医療

医療DXも本格的に動き始めた。

病床管理支援システム「メディサイナス」の導入により、入院状況の可

視化が進み、適切な退院調整やスマートな病床コントロールが期待される。院長は「患者にとつてもスタッフにとつても、より納得感のある運営につながる」と語った。診療録補助AIや文字起こしツール、説明動画の活用なども進められ、医療者の負担を減らす仕組みが整いつつある。「がん診療を前に進めるためにも、DXは欠かせない」と院長は情熱を見せる。

地域医療を支えるために診療体制の強化とDXの両輪が不可欠であることを改めて感じた。当院は次のステージへ着実に歩みを進め、今後も患者一人ひとりの生活と健康を支えるため、挑戦を続ける姿勢を大切にしたい。

解説室

取材撮影 TCK 名古屋

※ サルコペニア

筋力低下（サルコペニア）と肥満（オベシティ）が同時に起きた状態。健康リスクが高く、筋肉量を増やしながら体重を管理することが重要とされる。

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院

研修会を行います。

学術講演会

日時 令和8年1月29日(木曜日) ●18:15~19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室

➡ 座長：鈴鹿中央総合病院 脳神経外科 部長 土屋拓郎

〈一般講演 18:15~18:30〉

一般講演 「肥満症治療の栄養指導について」

演者：鈴鹿中央総合病院 栄養科 科長／中谷理恵

〈特別講演 18:30~19:30〉

特別講演 「中性脂肪は頸動脈ブラークを進展させる!
高中性脂肪血症の管理で
知っておくべきポイント」

演者：三重大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
教授／鈴木 秀謙先生

URL

<https://O0m.in/WKqAH>



日時 令和8年2月27日(金曜日) ●18:30~19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室

➡ 座長 鈴鹿中央総合病院 呼吸器外科 部長 川野 理

〈特別講演 18:30~19:30〉

特別講演 「胸部悪性腫瘍に対するロボット支援下手術
～名古屋市立大学病院での取り組み～」

演者：名古屋市立大学病院 呼吸器外科
教授／奥田 勝裕先生

日時 令和8年3月26日(木曜日) ●18:30~19:30

●鈴鹿中央総合病院／2階講義室

➡ 座長 鈴鹿中央総合病院
院長補佐 泌尿器科部長 金井優博

〈特別講演 18:30~19:30〉

特別講演 「前立腺癌治療の最新の話題」

演者：三重大学大学院医学系研究科 腎泌尿器外科学
教授／井上貴博先生

URL

<https://h7.cl/1k08e>



本研修会は、地域の医療従事者を対象に新しい医療のあり方や見識を高めるため、毎月定期的に勉強会を行ない地域医療技術向上を目的としています。

お問合せ先 地域連携室 Tel059-384-1057(直通)

肺がん検診のための胸部単純X線症例検討会

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室

「持ち寄り症例相談」 ●19:15~

令和8年
2月10日
(火曜日)

令和8年
3月10日
(火曜日)

BCT ●午前7:30~8:00

※事情により予定変更する場合があります BCTBasic Clinical Teaching

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

日時 令和8年1月7日(水曜日)

演題 『妊婦と薬・産婦人科救急疾患』

演者：産婦人科／丹羽正幸

日時 令和8年1月21日(水曜日)

演題 『眼科救急疾患』

演者：眼科／新家麻華

日時 令和8年2月4日(水曜日)

演題 『腹部外傷』

演者：外科／長谷川文哉

日時 令和8年2月18日(水曜日)

演題 『皮膚の診察方法』

演者：皮膚科／山際秋沙

日時 令和8年3月4日(水曜日)

演題 『頭部外傷』

演者：脳神経外科／浅田玲緒尚

RCC

●午前7:30~8:00

RCCResident Case Conference

●鈴鹿中央総合病院／北館2階講義室1

演題 『臨床研修医の経験症例発表』

令和8年
1月14日
(水曜日)

令和8年
1月28日
(水曜日)

令和8年
2月25日
(水曜日)

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回4機関ずつ
紹介しております。

※診療日について都合にから休診または代診
となることがありますので詳くは各医療機関に
お問い合わせください。



くまがい内科・循環器クリニック



院長 熊谷 直人

<https://kumagai-cl.jp>

◆診療科

- 内科 ●循環器内科
- リハビリテーション科

◆特色

- 外来心臓リハビリテーション対応クリニック
- 睡眠時無呼吸症候群の診断・治療
- 生活習慣病の管理

●休診日

水曜・土曜午後、日、祝日

●診療時間

9:00~12:00 15:30~18:30

●所在地

〒514-0101 津市白塚町3702-1

●電話 059-253-6868

fax 059-253-6867

川口整形外科



院長 川口 篤

<https://www.kawaguchi-seikei.net/>

◆診療科

- 整形外科 ●リハビリテーション科

◆特色

当院は整形外科、リハビリテーション科の有床診療所です。1次救急指定診療所であります。時代の流れ、地域の要望に応え一部療養型病床を採用しております。亀山医療センター、鈴鹿回生病院、鈴鹿中央総合病院、三重大学病院等とは親密に連絡を取り合い高度の医療検査が必要な患者さんにも安心してかかって頂けるよう「診るべきは診る。送るべきは送る」という方針。

●休診日

木曜午後(木曜午前はリハビリのみ)

日曜 祝日

●診療時間

9:00~12:00 15:00~19:00

●所在地

〒519-0165 亀山市野村4丁目4-19

●電話 0595-82-8721

fax 0595-83-1833

松葉耳鼻咽喉科



院長 松葉 務

<https://www.matsubajibika.com/>

◆診療科

- 耳鼻咽喉科 ●気管食道科

◆特色

耳鼻咽喉科の患者さんは、ほとんどが外見上は健常な人と変わらないため、周囲の人に苦しみや悩みが理解してもらえないケースも少なくありません。したがって、悩みをじっくり聞くことが大切だと思っています。院内はパーソナル設計でリラックスして診察を受けていただこうと努めています。亀山で開業して42年目になります。初心を忘れずに少しでも地元の皆様の健康をサポートできる耳鼻科医でありたいと思っております。

●休診日

木曜日・日曜日・祝日

●診療時間

平日 9:00~12:00/14:30~18:30

土曜 9:00~12:00/14:30~17:00

●所在地

〒519-0122 亀山市東台町1-6

●電話 0595-83-0087

fax 0595-83-0557

宮村産婦人科



院長 宮村 吉磨

◆診療科

- 産婦人科 ●内科 ●小児科

◆特色

1986年に生まれ故郷である亀山市に開業して以来、地域の皆様の健康をサポートさせていただいております。亀山地区で婦人科疾患を治療する唯一の医療機関です。

●休診日

木曜日・日曜日・祝日

●診療時間

9:00~12:00 16:00~18:30

(土曜日 13:00~16:00)

●所在地

〒519-0116 亀山市本町3丁目8-7

●電話 0595-82-5151

fax 0595-82-2728

あなたの声を、心からお待ちしています

募集! 看護補助員(病棟・外来補助業務)パート

お問い合わせ先 看護補助員看護部 059-382-1311

診療科目	月	火	水	木	金
一般内科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医
循環器内科	初診	太田覚史	岡本伸也	渡邊清季	山本彰人
		樂家僚亮		牧野 翠	北村哲也/樂家僚亮
		北村哲也		北村哲也	伊神明良
	再診	伊神明良(PM)		太田覚史	太田正行
		渡邊清季		梅澤鈴子	黒田修平
				根本奈苗	
ベースメーカー外来	予約制		第1水曜日14:00~		第2金曜日14:00~
re:body外来	予約制			太田覚史15:00~	
高血圧専門外来	予約制		北村哲也11:00~		
消化器内科	初診	向 克巳	松崎晋平(胆脾)	齊藤知規	岡野 宏(肝)
		田中宏樹(胆脾)	竹中喬紀	磯野功明	野村達磨
		野村達磨(AM)	佐瀬友博	向 克巳	熊澤広朗
	再診	樋口正太郎(AM)	向 克巳	西村 晃(肝)	齊藤知規
		岡野 宏(肝)	熊澤広朗	磯野功明	竹中喬紀
				田中宏樹(胆脾)	三谷隆教
			西村 晃(肝)		松崎晋平(胆脾)
					岡野 宏(肝)
血液内科	初診	川上恵基	大学医		水谷 実
		川上恵基	水谷 実	川上恵基	
	再診	藪 晃大	岡田真名人		
		鶴岡 健			
腎臓内科	初診			田中祐也	小田豪将
	再診	田中祐也(PM)		早川温子	大橋智貴
内科(再診のみ)	再診	山本伸仁			山本伸仁
リウマチ・膠原病内科	初再診(予約制)	杉谷直大	大学医		安藤流布人
糖尿病・内分泌内科	初再診(予約制)			森井将基	
腫瘍内科	再診				水野聰郎(腫)
眼科	初再診	佐々木拓	湯浅 湖	初診休診	畠 七海
		畠 七海			佐々木拓
		米川由賀			米川由賀
	再診		有馬美香	再診予約のみ	湯浅 湖
			畠 七海/米川由賀		佐々木拓
			佐々木拓		湯浅 湖
近視予防外来(午後)	予約制	湯浅 湖			湯浅 湖
レーザー治療(午後)	予約制		レーザー治療	レーザー治療	レーザー治療
斜視・弱視外来(午後)	予約制		斜視・弱視	斜視・弱視	斜視・弱視
眼内注射	予約制	眼内注射		眼内注射	眼内注射
小児科	初再診	大矢和伸	大矢和伸	大矢和伸	大矢和伸
		下野吉樹	下野吉樹	下野吉樹	下野吉樹
発達・神経外来	予約制			第1.3.5塙野愛	
乳房検診	予約制			乳児検診(4ヶ月)	乳児検診(10ヶ月)
予防接種	予約制		予防接種		
小児リウマチ膠原病外来	予約制				第3 篠木敏彦
耳鼻咽喉科 金曜日のみ10:30迄	初診	藤田祐一(紹介のみ)	初診休診	大学医・久保和之 (紹介のみ)	藤田祐一(紹介のみ)
	再診	久保和之	担当医	藤田祐一	久保和之
FNA検査(午後)	予約制			FNA検査	
呼吸器センター	呼吸器内科	藤本 源	浅山健太郎	辻 愛士	中原博紀
		中原博紀	岡野智仁	高木健裕	浅山健太郎
	呼吸器外科	古田ちひろ	川野理	川野 理	中原博紀/小久江友里恵
			中川啓輔		深井一郎
心臓血管外科	初再診				伊藤久人
外科	初再診	市川 健	小倉正臣	谷川寛自	濱田賛司
				畠中友秀	(午後再診:濱田賛司)
	再診	金兒博司	市川 健	説田守仁	小倉正臣
		長谷川文哉		畠中友秀/長谷川文哉	説田守仁
乳腺外来	月:予約制	加藤由紀子		今井奈央	
ストーマ外来	予約制(14:00~)			ストーマ外来	
形成外科(院内コンサルのみ)					第2大学医(PM)
整形外科 新患11時まで (紹介のみ)	初診(紹介のみ)	横山弘和	國分直樹・稻垣玲菜	山田浩之・稻垣玲菜	藤井一剛
	再診	若林弘樹	若林弘樹	若林弘樹	横山弘和
		藤井一剛(第2/4回のみ)	稲田 均	横山弘和	稲田 均
リウマチ	予約制	若林弘樹	若林弘樹	若林弘樹	稲田 均
脳神経外科	初再診	清水重利	担当医	清水重利	土屋拓郎(一般/脊髄)
		土屋拓郎	浅田玲緒尚	浅田玲緒尚	
ポトックス治療	予約制				土屋拓郎
脳神経内科	初診	川名陽介	佐羽勇輝	牧 聰樹	川名陽介
		稻塚朱音			大学医
	再診		牧 聰樹	川名陽介	佐羽勇輝
物忘れ外来	予約制	第1/3/5物忘れ外来			
皮膚科	初診	山際秋沙	大学医	山際秋沙	大学医(10:30迄)
	再診				初診休診
精神科	完全予約		川喜田昌彦		川喜田昌彦
緩和ケア内科	完全予約				第1/3/5日井正信(PM)
産婦人科	初診	丹羽正幸	丹羽正幸	初診休診	丹羽正幸
	再診	矢納研二	矢納研二	丹羽正幸	(初診優先)
妊婦健診/助産師外来	予約制	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来	妊婦健診/助産師外来
泌尿器科 新患のみ11:00迄	初診	担当医	澤井千夏	井上貴博	大槻裕之
	再診	金井優博	大槻裕之	長谷川万里子	西原瑞己
		担当医	担当医	担当医	担当医
放射線治療科	完全予約	村田るみ・水野智貴	村田るみ	村田るみ・水野智貴	水野智貴
IVR科	完全予約				村田るみ・水野智貴
病理診断科	完全予約	馬場洋一郎/朝川可奈			中塙豊真(AM)
					中塙豊真
					馬場洋一郎/朝川可奈

お願い

産婦人科からのお願い

◇手術・入院・分娩は現在休止中です

内科からのお願い

◇消化器内科は医療機関または紹介状をもちの患者さまからご予約いただけます

◇血液内科への新患紹介で水曜日にお急ぎの紹介をいただきます折は、事前に血液内科医師水谷までご連絡ください

◇リマチ・膠原病内科は予約制です。診察枠が限られていますので必ずご予約をお願いします

◇水曜日 横浜病院内分沁内科は予約制です。診察枠が限られていますので、必ず予約をお願いします

◇水曜日 高血圧専門外来、木曜日 re-body外来は紹介予約制です

小児科からのお願い

◇心疾患の紹介は月火水金 大矢医師にお願いします

◇腎臓病・糖尿病の紹介は下野医師にお願いします

◇発達神経外来…第1.3.5水曜(予約)

◇予防接種…火曜午後(要予約) 小児リウマチ・膠原病外来…第3金曜午後

◇入院が必要な患者さまを紹介いただいたとき折は、小児科外来に事前にご連絡ください

耳鼻咽喉科からのお願い

◇耳鼻科にご紹介の際は、【初診担当医】宛てでお願いいたします

◇紹介状をご持参いただけない初診患者さまは診察できません

◇初診患者の紹介は、月・水・木・金曜日にお願いします(金曜日のみ受付時間が8:30~10:30迄となります)

脳神経外科からのお願い

◇ご紹介患者さまについてはご予約可能です。事前に診療情報提供書をFAXしていただき、ご予約をお取りください

泌尿器科からのお願い

◇ESWL(体外衝撃波結石破砕術)は現在行っておりません ご了承ください

皮膚科からのお願い

◇ご紹介は月・火・水・木曜日にお願いします(木曜日のみ10:30まで) 手術目的の紹介は月・水曜日にお願いします

眼科からのお願い

◇近視予防外来への紹介は月・木 湯浅医師にお願いします

◇初診については紹介患者さんのみとさせていただきます

◇二次健診にてご受診希望の場合は水曜日以外にご来院ください

◇小児眼科・斜視の患者さまのご紹介は火(湯浅医師)にお願いします

整形外科からのお願い

◇初診については紹介患者さんのみとさせていただきます

◇木曜日は初診コンサルテーションともに休診です

呼吸器センターからのお願い

◇呼吸器センターご予約方法

呼吸器センターは医療機関、または紹介状(持つ)の患者様からご予約いただけます

呼吸器センター直通TEL

059-384-1025

(平日 8:30~17:00)

◇木曜日は呼吸器内科専門医での初診診察が不可のため、火急の肺炎患者さまを木曜日にご紹介ください。呼吸器内科専門医での診療体制が整いましたら、呼吸器センター(内科)でお受けいたします

健診センター「オリーブ」

◇人間ドック 脳ドック 肺がんドック

月:火・水・木・金曜日(予約制) 健診センターにて受付いたします

Tel:059-384-1017

免疫の仕組みに基づく新しい自己免疫疾患(リウマチ・膠原病)診療へ



ノーベル生理学・医学賞から見えてきた“免疫のブレーキ”

—診断と治療の考え方は、近年大きく進歩しました

「朝のこわばりが続く」「関節が痛む」「疲れや熱がなかなか取れない」——こうした不調は、加齢や生活習慣だけでなく、免疫が過剰に働くことで起こる自己免疫疾患が隠れていることがあります。2025年10月、大阪大学の坂口志文先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。受賞対象となった制御性T細胞は、免疫が暴走しないように整える“ブレーキ役”を担う細胞です。この発見により、「免疫バランスの乱れが病気を生む」という考え方方が明確となり、関節リウマチや全身性エリテマトーデス(SLE)、血管炎、筋炎、全身性強皮症(硬化症)など、さまざまな膠原病の病態がより明確になりました。今回の受賞を受け、自己免疫疾患への社会的関心も高まっています。報道では、高市首相も御自身の関節リウマチの経験に触れつつ、坂口先生の研究への祝意と研究の発展への期待を述べられたことも紹介されました。「適切な治療によって日常生活を取り戻せる病気である」という認識が広がり、多くの患者さんにとって治療の希望につながっています。制御性T細胞研究そのものが、現在の治療薬に直結するわけではありませんが、免疫のバランスを整えるという、現代の治療方針を支える基盤となっています。

2025年7月、新たに「リウマチ・膠原病内科」が発足しました

—症状や治療に関する気がかりがあれば、いつでもご相談いただけます

当院では、免疫の病気に幅広く対応するため、2025年7月にリウマチ・膠原病内科を新設しました。関節リウマチ、SLE、シェーグレン症候群(病)、全身性強皮症(硬化症)、血管炎、炎症性筋疾患、リウマチ性多発筋痛症など、多様な疾患を対象としています。症状は、関節痛やこわばり、皮疹、筋力低下、発熱や倦怠感などさまざま、「どこに相談すべきか迷う」ことも少なくありません。当科では、丁寧な身体診察や採血、関節エコーをはじめとした超音波検査やその他の画像検査を組み合わせ、早期診断につながる体制を整えています。近年は、生物学的製剤やJAK阻害薬など、免疫の働きに的確に作用する治療薬が普及し、ステロイド(副腎皮質ホルモン)だけに頼らず病気を安定させられる時代になってきました。もちろん、ステロイドは今も大切な治療薬の一つですが、長期間内服されている場合に、用量や期間について慎重な見直しが必要になる場合があります。そのため当科では、すでに治療を続けておられる方についても、「治療がご自身に合っているか」、「副作用や身体への負担を減らす方法があるか」といったご相談にも対応しています。新しく発足した当科が、症状が気になる方にも、治療中の方にも、安心して相談いただける存在となるよう努めてまいります。

外来のご案内

◆診療受付時間／午前8:30～11:30まで

診療科により診療日、診療時間が異なる場合があります。

再来受付機のご利用は午前7:50から

◆休診日

都合により、事前連絡なく代診・休診になる場合があります。ご了承ください。

土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月30日～1月3日)

緊急の場合は休診日や診療時間帯に関わらずお問い合わせください。

☎ 059-382-1311(代)

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、必ずマイナ保険証または資格確認書とあわせて新患受付にお出しください。

◆患者さまへのご案内

診察券はご来院の際、必ずお持ちください。

各科共通で永久使用しています。

毎月1回、マイナ保険証または資格確認書の確認を行っております。3ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができます

せん。マイナ保険証または資格確認書に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

●受診の際、お車でお越しの方は駐車サービス券を会計で受領し事前精算を行ってください。

●外来担当者が都合により代診や休診になる場合があります。ご了承の程よろしくお願いします。

◆紹介状をお持ちの方

●紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越し下さい。係の者がご案内させていただきます。

◆保険外併用療養費(選定療養費)について

●初診で紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費として7,700円(税込)をいただきます。紹介状をお持ちいただければ7,700円(税込)は不要となります。

●再診の患者さままで下記に該当されます折は選定療養費として3,300円(税込)をいただきます。

①かかりつけ医への紹介を受けたが、紹介状なしに再受診された場合

②病状が安定した後も当院での通院を希望される場合(事前に担当医よりかかりつけ医への紹介を提案させていただきます)

◆セカンドオピニオン外来のご案内

●当院ではセカンドオピニオン外来を行っております。★完全予約制★ ご予約、お問い合わせは、地域連携室にて承っております。

予約・問い合わせ受付時間

月～金 9:00～16:00(年末年始・土日祝日除く)

☎ 059-384-1057

※ご予約は医療機関からの申込のみとなります。

病院の理念

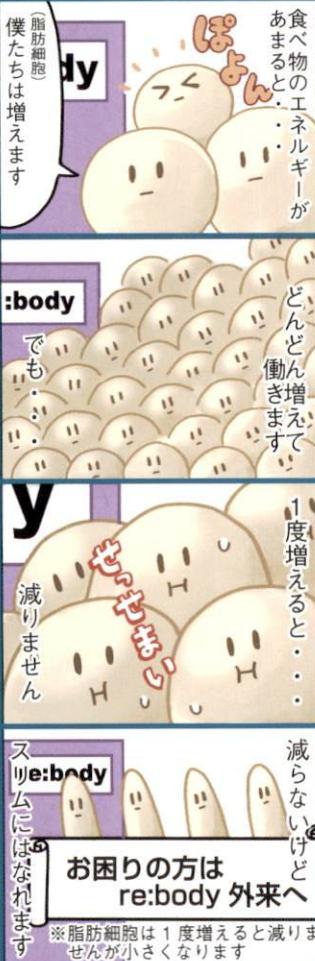
良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示とセカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

Coffee Break

「ぼくたち、
ぽよん隊」



:body

でも・

y

減りません

スリムにはなれます

お困りの方は
re:body 外来へ

※脂肪細胞は1度増えると減ります



SALON DE 鈴中ニュース NEWS

放射線治療装置が
新しくなります

放射線治療は、手術、薬物療法と並ぶ、がん3大治療の一つです。完治を目指す治療や、痛みなどを取り除く緩和治療など、多くのがんに適応があります。

2010年に導入したトモセラピーをこのたび同じ系統の最新型後継機Radixact（ラディザクト）に替えることになりました。改善点としては、位置合わせ用画像の撮影が速くなり画質もよくなり、治療時間が大幅に短縮できるようになります。新たな機能として、「動体追尾照射」ができるようになります。これによって、早期肺がんなどの呼吸に伴って動いてしまう腫瘍を追いかけて照射することが可能となります。また、X線を使わずに体表面の起伏を感じて位置合わせができる「体表面画像誘導放射線治療」の機能も加わり、より正確にセッティングできるようになります。この2つの機能は全国的に珍しいものです。今まで以上に正確に安全に丁寧に治療してまいります。新しい放射線治療装置は、2026年1月より稼働となります。

緩和ケア研修会

11月8日（土）当院北館2階講義室にて

緩和ケア研修会を開催しました。この研修会は国の定めに基づき医師をはじめとする医療従事者が緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することで緩和ケアが目的としたもので、人材の育成をがん診療連携拠点病院である当院が担っています。今回、医師18名を含む25名が参加し、全員が全てのプログラムを修了することがされました。今後も引き続き研修会を開催し、医療人材育成に努めてまいります。

がん市民公開講座

11月22日（土）14時より当院北館2階講義室にて、第17回がん市民公開講座を開催いたしました。今回は、当院院長補佐

村田のり先生による「放射線治療の機械が新しくなります」、宮崎嘉英看護師主任による「リンパ浮腫ケアについて知ろう」「症状の改善で心地よい暮らしを手に入れませんか？」の2題の講演を行いました。講演後は、活発な質疑応答も行われ、地域の皆さまのがんに対する関心の高さが伺えました。今後も地域がん診療連携拠点病院としてがんの最新情報を探すべく、開催を続けて参ります。

手関節（黒矢印）を背屈させた状態で、反対



A Q 3 自分でできるストレッチ

① 指伸展ストレッチ

- 無理に動かさず、まずは安静を保つ
- 痛みのある部分を保冷剤などで短時間冷やす
- 市販のサポーターやテープで関節を保護する
- 朝のこわばりには、ぬるま湯などで温めると和らぐことがあります

それでも痛みが続く、指が引つかかる、曲がりにくいといった症状がある場合は、無理をせず受診してください。早めに治療を行うことで、症状の悪化を防ぎ、日常生活への影響を最小限に抑えることができます。

手は毎日の生活を支える大切な器官です。ちょっとした工夫とストレッチで負担を軽減できますので、ぜひ今日から取り入れてみてください。

教えてQ & A

整形外科・手外科専門医
國分 直樹

「ばね指・腱鞘炎を予防するため」

家事や仕事、スマートフォン操作など、私たちは一日の中で手指を酷使しています。そのため、指を動かす腱（けん）が炎症を起こし、痛みや動かしづらさが出る「腱鞘炎・ばね指」は、年代を問わず多くの方にみられる病気です。特に40～50代の女性に多く、指の付け根の部分に痛み、腫れ、熱感が生じます。症状が進行すると、指がほとんど動かせなくなり、日常生活に大きな支障をきたします。ここでは、日常生活の中ができる予防と、ストレッチによるセルフケアについて紹介します。

Q 1 腱鞘炎・ばね指の主な原因は何ですか？

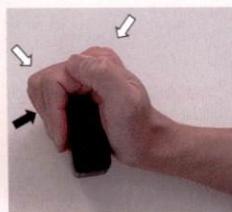
の手を使い、患側の指の[△]関節（白矢印）を可能な範囲でゆったり伸展させます。

A

指の使い過ぎや長時間同じ動作を繰り返すこと、加齢に伴う腱の変性、糖尿病、ホルモンバランスの変化（妊娠・更年期など）が関係するといわれています。

② 指屈曲ストレッチ

図のように[△]・[○]関節（白矢印）を最大屈曲位、[○]関節（黒矢印）を伸展位とし、手のひらに収まる程度の大きさのブロッカや雑誌などを握り、指先でそれを握りつぶすように全力で力を加えます。



私は脳神経外科・脳神経内科の病
科衛生士と連携することで、多くの患者さん一人ひとりに合ったケアを提供しています。

また、摂食嚥下サポートチームとして言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士と連携することで、多くの患者さん一人ひとりに合ったケアを提供しています。

活動を通して患者さんが「食べる喜び」を取り戻し、より豊かな生活を送れるようサポートさせていただきます。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

は、「食べる」「飲み込む」という困難を抱える患者さんに対して、安心して口から食事ができるよう支援する専門職です。具体的には、まず患者さんの嚥下機能(飲み込む力を評価し、誤嚥や窒息のリスクを防ぐための食事形態や姿勢を提案します。食事中の介助や、口腔ケア(口の中の清潔を保つケ

摂食・嚥下障害看護認定看護師

棟に勤務しており、脳血管疾患、特に脳梗塞や脳出血などの発症後に、摂食嚥下機能の障害を認められる患者さんに対して、摂食嚥下機能の回復・維持を目的とした訓練

ご意見にお答えします!



看護師
田本 まなみ

A 初診で来院し、駐車場の精算につきましては、事前精算機(正面玄関の屋内に2台と屋外に1台)、健診施設オーリーブ(1台)にて行っていただきます。自身の車両ナンバー(下4桁)を入力していただくとお車の写真が出てまいりますので選択の上で、精算をお願いします。なお、外来および健診を受けられる方は8時間、お見舞いに来院された方は1時間まで無料となりますので駐車サービス券を会計や面会受付等でお受け取り下さい。

わたしのすすめ
紹介 研修医 太田 圭祐
私は中華料理の中でも特に麻婆豆腐が好きで、辛さや痺れ、旨味もしつかり感じられ、最後の一口まで飽きずに楽しめます。四日市を訪れた際には、ぜひ熊猫飯店の麻婆豆腐を味わってみてください。思わず人にすすめたくなる1皿です。

麻婆豆腐

花椒の香りとキレのある辛さが特徴で、ご飯が進む力強い味わいです。辛いだけでなく旨味も



写真はイメージです

～にんじんとりんごのポタージュ～



材料(2人分)

にんじん	100g(小1本)
りんご	50g(1/6個)
バター	5g(小さじ1)
固形コンソメ	2.5g (1/2個)
牛乳	100ml
水	150ml
パセリ	少々

〈栄養価〉

エネルギー	87kcal
たんぱく質	2.1g
脂質	4.1g
塩分	0.7g

作り方

- ①にんじんとりんごの皮をむき、薄く切る
- ②小鍋ににんじんとバターを入れ、軽く炒める
- ③②にりんごと水、コンソメを入れて、にんじんが柔らかくなるまで弱火で煮る
- ④ミキサーやブレンダーでなめらかにする
- ⑤④に牛乳を加えて沸騰しない程度に温める
- ⑥器に盛り、お好みでパセリを振りかける

誌面でフリーカラム

管理栄養士
龍山 沙織
(たつやま さおり)